

茂原樟陽高校におけるサッカーゴール転倒による死亡事故について

教育庁教育振興部体育課

043-223-4109

1 事故の概要

- (1) 事故発生 平成 25 年 5 月 28 日（火）午後 0 時 01 分頃
4 限目 体育の授業中（サッカー 男子 19 名）
- (2) 被害生徒の状況 3 年 男子生徒（17 歳）
事件発生から 2 日後の 5 月 30 日（木）14 時 48 分 死亡
- (3) 発生場所 県立茂原樟陽高等学校（生徒数 758 名） グラウンド
- (4) ゴールのサイズ 鉄製 横 7.5m 高さ 2.55m 奥行 1.75m
- (5) 事故発生状況
 - 3 年生体育の授業でサッカーの試合を行っている最中に発生した。
 - 事故の発生の状況は、転倒防止策が講じられていなかったサッカーゴールのクロスバーに被害生徒がぶら下がり、ゴールと共に転倒した。
 - 被害生徒の顎（あご）から首にかけてクロスバーがかぶさるような状態で下敷きになり、教諭らは、事故発生現場から約 30m 離れた位置から救助に駆け付けた。
- (6) 事故発生後の学校の対応
 - 生徒を救出したが、脈が弱くなってきていたので授業担当教諭が心臓マッサージを開始し、その後、養護教諭が AED を使用して心肺蘇生を試み、消防隊員に引き渡す。
 - 心肺停止の状態であったため養護教諭が付き添い、ドクターヘリの発着所まで救急車で搬送後、医師に引き渡し医療措置を受け、心臓の拍動が戻ったものの意識不明のままドクターヘリで搬送された。
- (7) その他
昨年 10 月に同じゴールで転倒事故があり、生徒 1 名が指を負傷している。
その後、使用時に転倒防止策を講じていたが、ゴールの移動が頻繁になり、転倒防止策が疎かになっており、当日も講じられていなかった。

2 県教育委員会の対応

- (1) 原因の究明に努め事実関係を明確にするとともに、学校における安全管理を徹底し、事故防止に万全を期す。
- (2) スクールカウンセラーを派遣し、生徒の心のケアや教職員に対する助言・援助を行っている。
- (3) 「学校施設・設備の安全管理の徹底及び緊急安全点検の実施について」を通知した。
(各県立学校、各市町村教育委員会、学校関係団体、競技団体宛て)
- (4) 県教育委員会が直接、茂原樟陽高校の体育施設設備等の点検を速やかに行い、その結果を踏まえて、他の県立学校への点検を進める。

3 その他

- 現在、警察において捜査中。
- 6 月 1 日（土）学校において保護者会を開催し、事故の概要や今後の安全対策等について説明した。
- 6 月 5 日（水）通夜、6 月 6 日（木）告別式が行われた。